

# 令和5年度 第2回 堺市ICT戦略推進本部会議

令和6年2月19日  
堺市 ICTイノベーション推進室

## 目次

### 【審議事項】

1 アナログ規制の点検・見直し	2
2 生成AIの活用推進	6
3 SakaI-Dの推進	10

### 【報告事項】

<input type="checkbox"/> 令和6年度 ICT予算案	15
<input type="checkbox"/> 堺市DXの推進	19
<input type="checkbox"/> オンライン化の推進	23
<input type="checkbox"/> 業務システムの標準化	25

# 1 アナログ規制の点検・見直し

# アナログ規制の概要

## アナログ規制とは

デジタル技術の登場以前に確立され、書面・対面といった**アナログ的な手法を前提とする法制度やルール**

## 背景・国の動き

### ■ 令和3年11月 デジタル臨時行政調査会の設置

⇒ 令和6年6月までに7つの規制及びフロッピーディスク等の記録媒体を指定する規制の点検・見直しを行う

### ■ 令和5年6月 「デジタル社会の形成を図るための規制改革を推進するためのデジタル社会形成基本法等の一部を改正する法律」の公布

⇒ 情報通信技術を効果的に活用することができるようにするため、必要な施策を講ずることが地方公共団体の努力義務とされた

### ■ 令和5年12月 「地方公共団体におけるアナログ規制の点検・見直しマニュアル」の改訂

⇒ 国のモデル調査（モデル自治体と連携し、実際に条例等の洗い出し作業を行う課題調査）で明らかになった課題や、モデル自治体での規制の洗い出し結果等が反映された

アナログ規制は、デジタル技術の社会実装を阻み、社会全体の「デジタル化」の妨げとなっている一面がある



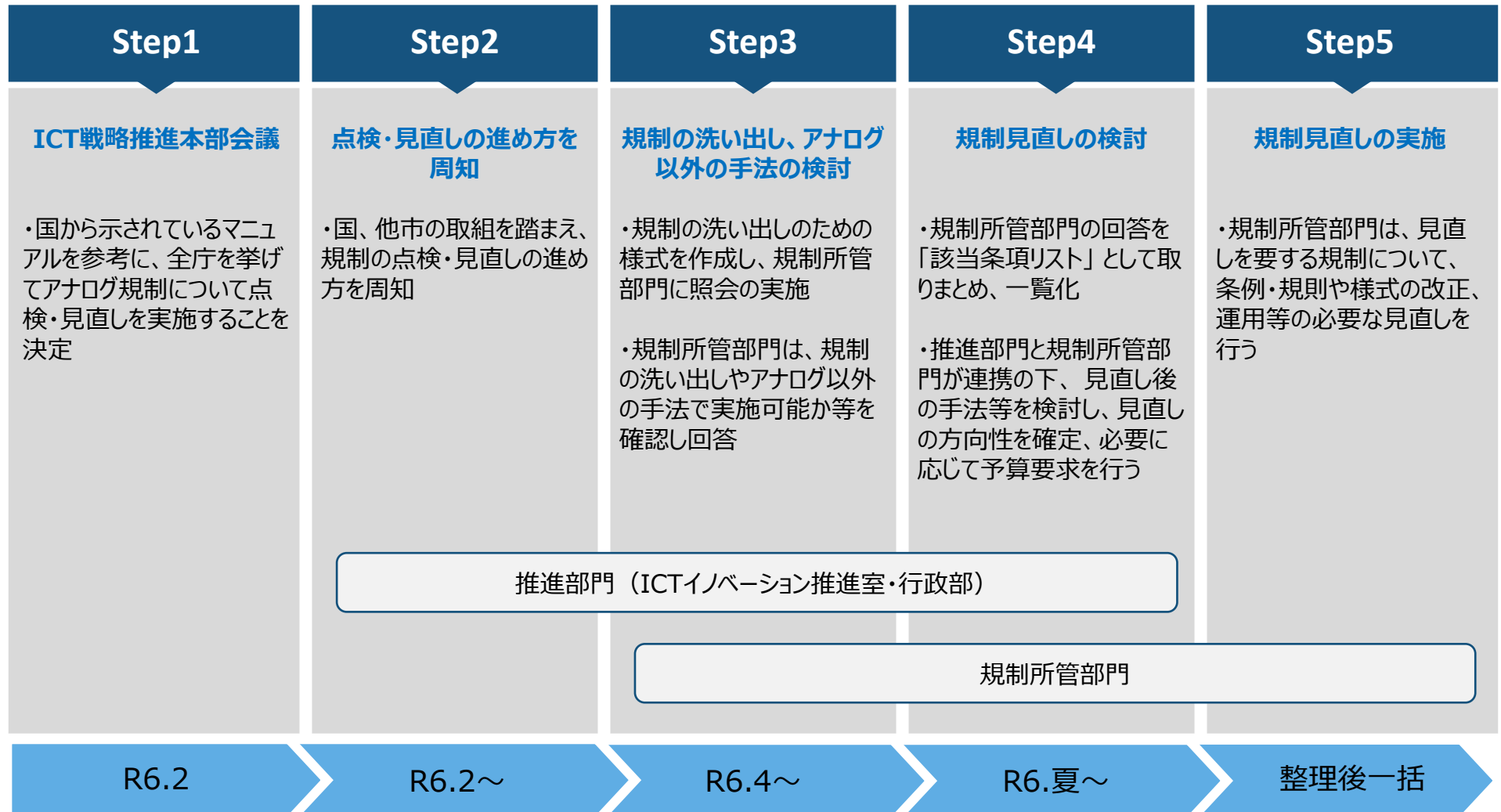
## 国が示すアナログ規制の類型

目視規制、実地監査規制、定期検査・点検規制、常駐・専任規制、対面講習規制、書面掲示規制、往訪閲覧・縦覧規制の7つの規制及びフロッピーディスク等の記録媒体を指定する規制

規制項目	規制の内容
①目視規制	人が現地に赴き、施設や設備、状況等が、法令等が求める一定の基準に適合しているかどうかを目視によって判定すること（検査・点検）や、実態・動向等を目視によって明確化すること（調査）、人・機関の行為が遵守すべき義務に違反していないかどうかや設備・施設の状態等について、一定期間、常時注目すること（巡視・見張り）を求めている規制
②実地監査規制	人が現場に赴き、施設や設備、状況等が、法令等が求める一定の基準に適合しているかどうかを書類・建物等を確認することによって判定することを求めている規制
③定期検査・点検規制	施設や設備、状況等が、法令等が求める一定の基準に適合しているかどうかを一定の期間に一定の頻度で判定すること（第三者検査・自主検査）や、実態・動向・量等を一定の期間に一定の頻度で明確化すること（調査・測定）を求めている規制
④常駐・専任規制	（物理的に）常に事業所や現場に留まる（＝特定の者に対して、特定の時間、特定の場所への常時滞在を義務付けている。）ことや、職務の従事や事業所への所属等について、兼任せず、専らその任に当たること（1人1現場の紐付け等）を求めている規制
⑤対面講習規制	国家資格等の講習をオンラインではなく対面で行うことを求めている規制
⑥書面掲示規制	国家資格等、公的な証明書等を対面確認や紙発行で、特定の場所に掲示することを求めている規制
⑦往訪閲覧・縦覧規制	申請に応じて、又は申請によらず公的情報を閲覧・縦覧させるもののうち、公的機関等への訪問が必要とされている規制
フロッピーディスク等	フロッピーディスク等を記録媒体に指定する規制

# 点検・見直しの流れ

## 点検・見直しの流れ（案）



## 2 生成AIの活用推進

# 生成AI活用の課題と対応

## 1 生成AI活用検証で有効性が見られた事務処理と課題

生成AIが活用できる事務処理	検証時に判明した課題
<ul style="list-style-type: none"><li>1 文章草案作成</li><li>2 文章要約、翻訳、言い換え、文章やコードの添削など</li><li>3 資料や情報の収集</li><li>4 アイデア出し、企画書草案作成</li><li>5 ローコード等の生成 (マクロ、Excel関数作成)</li></ul>	<p>指示や質問（プロンプト）の入力内容によって、生成される回答が異なることから、<b>プロンプトの入力スキルが必要</b>であるとわかった。</p> <p>また、検索履歴やプロンプト内容が生成AIに保存されてしまうことから、「堺市生成AI利用ガイドライン」を策定の上、<b>個人情報、機密情報は入力禁止</b>している。</p> <p>さらに、<b>本市が保有する情報を基に個別具体的な回答</b>は生成できないことが課題。</p>

令和5年11月からBing Chat利用開始（インターネット環境）

## 2 更に活用するための取組

### 課題1 テキスト生成AIを使いこなす知識の習得

入力する指示や質問（プロンプト）に関する知識の習得が必要。

5年度実施

プロンプトエンジニアリング（WS）の実施  
優良テンプレート共有、活用ガイドブック作成

### 課題2 情報漏洩リスクのない安全な生成AI導入

Bing Chatはプロンプト内容を学習して、他の回答に使用する可能性がある。

6年度実施

Bing Chat Enterpriseを導入  
プロンプトの内容が学習されない安全な生成AI

### 課題3 本市独自データを基に具体的な回答生成

Bing Chat EnterpriseはWeb情報を基に回答を生成。独自データの活用ができない。

6年度実施

Copilot for Microsoft 365を試験導入  
内部データを活用して強かに職員をサポート



# 生成AIの活用推進①

## 戦略 = 新たな技術とデータの積極活用

新たな技術を積極的に活用し、行政サービスの効率化や働き方改革などに取り組む

### 生成AIの活用推進①

【対象】 全職員

#### ■ 法人用テキスト生成AIの導入

現在実施しているプロンプトエンジニアリングのワークショップにおける優良事例をガイドブックとして作成し、庁内に展開  
ICTイノベーション推進室が活用方法をサポートし、優良プロンプトは定期的に更新して共有

#### プロンプト例（前提付与）

##### 入力したプロンプト：

あなたは{役割}になりきって質問に対し回答してください。回答方法は以下の{出力形式}に従ってください。

また、回答をする際は{前提条件}を踏まえてください。

{役割}

- ・あなたは自治体のDX推進に詳しいコンサルタントです
- ・自治体DXを推進する為の企画をします
- ・世の中の自治体DXに関する事例や知見を参考に回答を生成します

{出力形式}

- ・表形式で回答すること
- ・施策名、施策の概要を載せること
- ・施策名は20字以内とすること
- ・施策の概要は50字以内とすること

{前提条件}

- ・日本語で回答すること
- ・施策名は最低5個記載すること

#### プロンプト例（具体的指示）

- ・介護を必要とする高齢者が自立する為の支援企画を検討しています。
- ・要介護者が自立する為に、どのような企画が考えられるでしょうか。
- ・テーマとしては、市民参加とICT導入を検討しています。

回答生成

施策名	施策の概要
ケアネットワーク推進プロジェクト	地域のケアリングコミュニティを形成し、高齢者と地域住民が連携して支援する取り組み。情報共有や相談窓口をICTで提供する。
デイサービスオンライン予約システム導入	高齢者がデイサービスを利用する際に、オンラインで予約・申込みができるようにすることで手続きの煩雑さを解消し、利便性向上を図る。
介護情報ポータルサイト整備	高齢者や家族が介護に関する情報を簡単に収集・閲覧できるポータルサイトを作成し、必要な情報へのアクセス性を向上させる。
認知症予防教室開催支援事業	健康な高齢者対象の認知症予防教室の開催支援を行い、認知症発症リスクの低減や自立生活への貢献を目指す。市民参加型イベントも実施。
在宅医療連携システム整備	在宅医療と介護現場との連携強化により、高齢者が安心して在宅生活が送れるような体制整備。訪問看護師等とICT通信手段で密接な連携体制確立。

以上は堺市介護支援課における自治体DX推進企画例です。  
これら施策は市民参加やICT導入に焦点を当てたものです。  
詳細な内容は各施策ごとに具体的な計画書等が必要ですが、  
これら施策は他自治体でも効果的だった事例から着想されました。

業務の効率化を図るため、全庁でテキスト生成AIの積極的な活用を推進

# 生成AIの活用推進②

## 生成AIの活用推進②

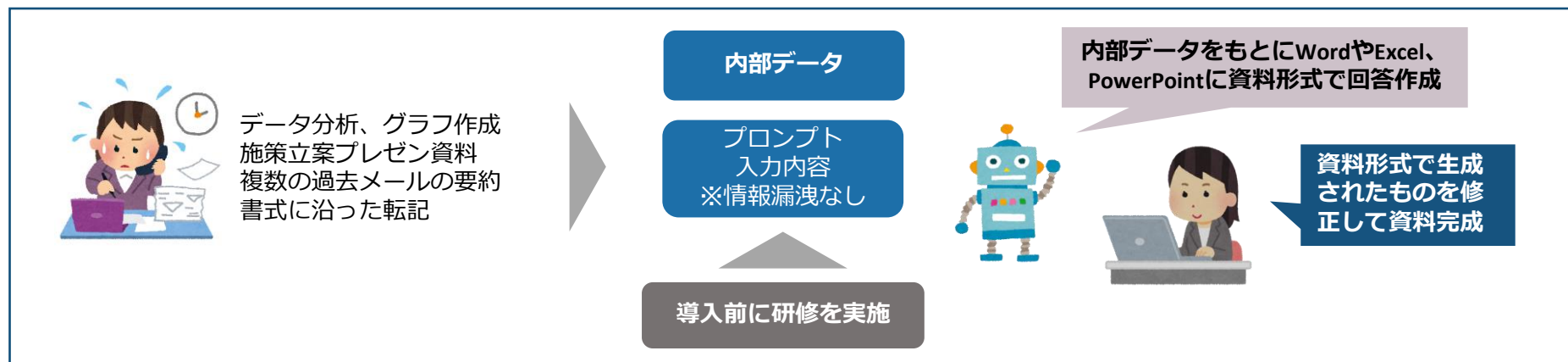
【対象】 専門的な資料作成を行う部署等

### ■ Copilot for Microsoft 365を試験導入（令和6年度予算）

Microsoftのアプリと連携し、市の内部データをもとに資料作成

企画部門や管理部門等、高い専門性が必要な資料作成を行う部署で活用する

さらに、業務での積極的な活用を図るため、希望する職員を公募し生成AIを活用する



デジタルツールの導入は目的ではなく、あくまでも手段であり、市民サービスの向上や業務運営の効率化のために業務見直しを行う中で生成AI等のデジタルツールを活用する

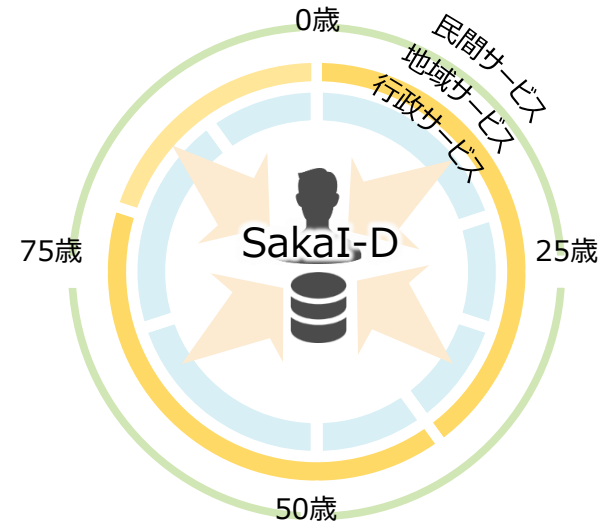
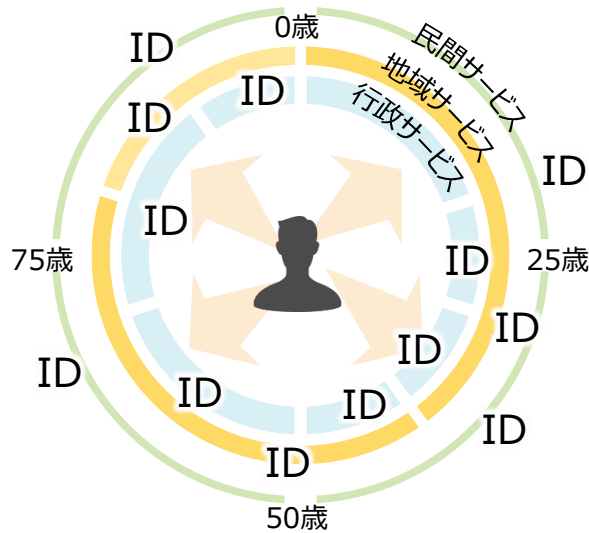
ICTイノベーション推進室が状況を聞き取り、導入前、導入後の比較を行い  
状況によりICTイノベーション推進室がサポートし、活用の推進を図る

### 3 SakaI-Dの推進

# SakaI-D活用方針

必要なサービスごとに自分でIDを作って探す

生涯にわたって自分に必要なサービスが届く



重点  
方針

**<重点方針①>**  
「人」にフォーカスした  
サービスの提供

ID連携により、本人が望む必要なサービスを把握し提供できる

**<重点方針②>**  
個々に寄り添うアウトリーチ型  
サービスの提供

必要なサービスを、必要とする住民にいつでも届けることができる

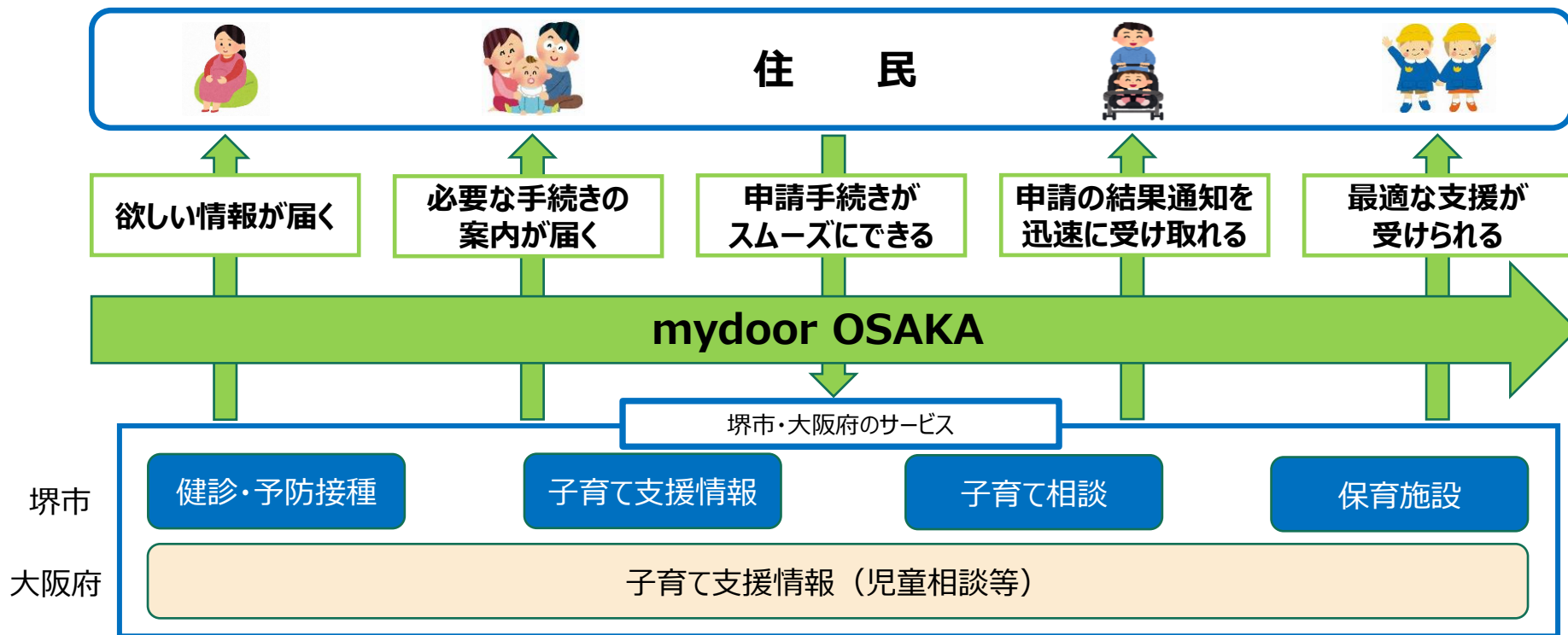
**<重点方針③>**  
地域・民間事業者  
との連携

民間事業者や地域で活動する人々と住民をつなぎ、公民のサービスをワンストップで提供できる

※大阪府が整備する広域データ連携基盤「ORDEN」で提供するORDEN-IDのうち、堺市民にかかわるIDを「SakaI-D」と呼びます。

# SakaI-Dの推進

大阪府の広域データ連携基盤ORDEN、及び令和5年度中に整備する広域ポータル「mydoor OSAKA」を活用し、令和6年度より電子送達をはじめとしたSakaI-Dの展開を推進



ひとつのIDで市や府の様々なサービスが利用できる

個人のニーズにあった府と市の情報やサービスを住民が探すことなく利用できる

# ORDENとmydoor OSAKAについて

mydoor OSAKAは大阪府がORDEN（大阪広域データ連携基盤）をベースに整備する府域における行政サービスの利用を便利にするための広域総合ポータル  
利用者がID登録をすることで、パーソナライズされたサービスが届き、ワンストップ・ワンズオンの手続きが24時間365日可能

## コンセプト

- 1) 行政からサービスが届く
  - 2) 一つの窓口で繋がる
  - 3) 24時間いつでも使える
- 広域総合ポータル



スマホ版の画面イメージ

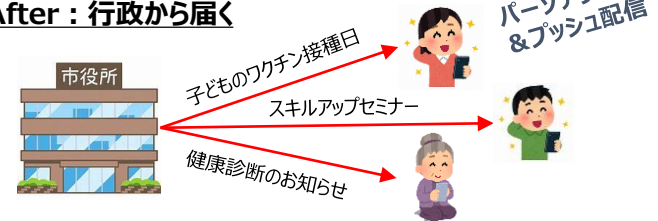
### 1) 行政からサービスが届く → 必要な情報が、必要なタイミングであなたに直接届く（探さなくていい）

#### Before : 自分で探す



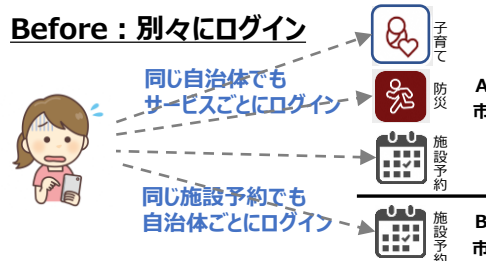
- 自分で探さなくちゃ
- 探しても見つからない
- 期限が過ぎている

#### After : 行政から届く



### 2) 一つの窓口で繋がる → 様々な主体のサービスが、一つのポータルから、一つのID・PWで繋がる

#### Before : 別々にログイン



#### After : 1回のログイン



### 3) 24時間いつでも使える → 24時間365日、スマホやパソコンから、オンラインで手続きができる

#### Before : 窓口で手続



#### After : オンラインで手続



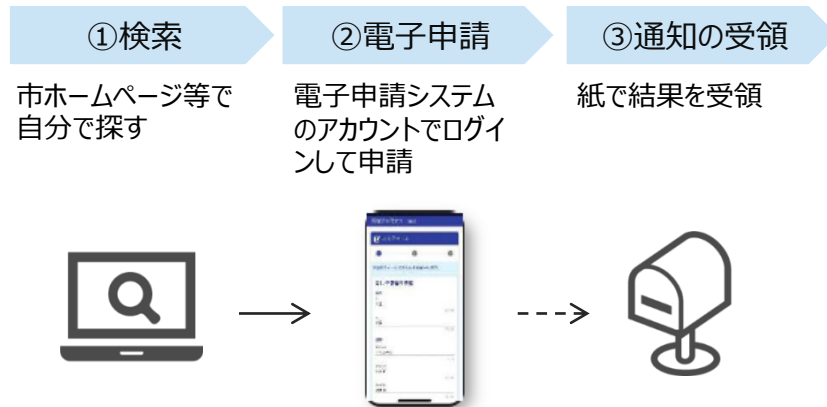
マイナンバーカードの公的個人認証機能により、本人確認書類の提出が不要

# 電子送達の推進

電子送達を推進することで、住民に必要な手続きを、案内から通知までワンストップで提供  
 令和6年度より保育施設の入所手続きなど、まずは子育て世代に向けた取組から開始し、展開を拡大

## BEFORE

- 申請フローが分断されている
- 発送に時間と配送コストがかかっている



## AFTER

- SakaI-Dひとつで案内・申請・通知をワンストップ化



(展開イメージ)

	乳幼児期 0～6歳	学齢期 7歳～	青年・子育て期 16歳～	高齢期 16歳～
堺市	出産・子育て応援事業	図書館貸出カードのスマホ化		
	保育施設申請	給食費・献立通知	公式LINEアカウントでの勧奨	
	子育てアプリとの連携	各施策での勧奨（窓口・通知）		

# 令和6年度 ICT予算案



令和6年度の主な取組（ゼロ予算の取組を含む）

## 戦略① デジタルファーストの推進

- 被災者生活再建支援のシステム化【危機管理室】
- 行政手続等のオンライン化に向けた電子申請システムの活用【ICTイノベーション推進室】
- キャッシュレス導入の推進【ICTイノベーション推進室】
- 粗大ごみ受付業務システムの再構築（オンライン決済機能の導入）【環境局】
- オンライン決済機能を有する文化施設予約システムの活用【ICTイノベーション推進室】
- DX推進の体制強化【ICTイノベーション推進室】
- マイナンバーカードの普及促進【ICTイノベーション推進室】
- 住居表示台帳のシステム化【市民人権局】
- 教育情報ネットワーク再構築（第2期）【教育委員会事務局】
- 車両管理システム改修による公用車運転前後のアルコール濃度測定対応【上下水道局】
- 仮想化統合基盤システムの再構築（オンラインバックアップ機能の導入）【上下水道局】

## 戦略② 新たな技術とデータの積極活用

- 都市OSの活用（大阪府と共同）【市長公室、ICTイノベーション推進室】
- マイクロソフトオフィスアプリと連携して資料等を生成するAI支援機能の導入【ICTイノベーション推進室】
- データを一元管理できるソフトウェア及びペンタブレットの導入【ICTイノベーション推進室】
- マイクロソフト365を活用したDXの加速【ICTイノベーション推進室】
- 全庁でのRPA活用の推進【ICTイノベーション推進室】
- DX推進の体制強化【ICTイノベーション推進室】《再掲》
- 南区スマート区役所事業の拡充【南区役所】
- 中学校のテスト採点支援システムの導入【教育委員会事務局】
- 生成AIを活用した会議録作成支援ツールの導入【上下水道局】

## 戦略③ 業務プロセス・システムの標準化

- 標準準拠システムへの移行【関係各局】
- ガバメントクラウド運用管理業務【ICTイノベーション推進室】
- 予算要求時（当初及び補正）のICT経費確認【ICTイノベーション推進室】
- 予算決算事務のBPR【上下水道局】

## 戦略④ ICTリテラシーの向上

- 新技術の勉強会・活用相談会の開催【ICTイノベーション推進室】
- 庁内LANを活用した情報提供・提案の実施【ICTイノベーション推進室】
- ICTリテラシー向上のための研修の開催【ICTイノベーション推進室】
- DX推進の体制強化【ICTイノベーション推進室】《再掲》
- マイクロソフト365を活用したDXの加速【ICTイノベーション推進室】《再掲》

## 戦略⑤ 情報セキュリティの強化

- 堺市ISMS（情報セキュリティマネジメントシステム）の実施【ICTイノベーション推進室】
- 情報セキュリティ監査の実施【ICTイノベーション推進室】
- 内部監査人研修の実施、自己点検の支援、次期監査計画の策定【ICTイノベーション推進室】

令和6年度ICT予算 計 7,674,938千円（市長部局等）  
（ICT関連予算除く） 680,585千円（上下水道局）

# 堺市DXの推進

# 令和5年度 DX推進に取り組む中での課題

## 【R5年度の主なDXの取組】

### 各部のDX推進体制を整備

- 各部のDXをけん引するDX PROを選抜し、DX推進に必要な研修を集中して実施
- 各部長に対しても、DX PROを支援するために必要なDX研修を実施
- 全職員に対しても、DXの基礎研修を実施

### 各部でDX実行計画を推進

- 各部で優先的にDXを進める案件を部長が選定
- DX PROが中心となってDX実行計画を作成し、業務の見直しを実施
- 計画の作成や見直しの進め方などを、ICTイノベーション推進室がサポート

## 【R5年度の取組から分かった『DX推進の妨げとなる職員の意識』】

- ✓ 『業務改善は必要』という認識はあるが、**現状維持・前例踏襲・旧態依然が当然**というバイアスがあるため、変えることができない
- ✓ 『DX = 単なるIT化』という思い込みから抜け出せず、**システム導入だけで十分**とし、データを活用した業務効率を考えられない
- ✓ 前例のない問題に対し、『**答えは誰かが持っている**（受け身の姿勢）』『**間違いたくない**（不安）』という意識が強い
- ✓ チャレンジしやすい職場環境になっていない（**変化への抵抗が根強い、変化を受け入れる範囲が極端に狭い**）
- ✓ 業務全体を俯瞰して考えられないため、**部分最適な見直し**しかできない
- ✓ 直面している課題のみに捉われ、**潜在的な課題に辿り着けない**

現状を踏まえて人材育成を強化

## R6年度 重点項目

DX推進組織に転換

マネジメントの発揮

人材育成の強化

# 令和6年度 DX育成プログラム（案）


- DXに必要な基礎知識は、全職員を対象に実施する
- より実践的な研修は、内容に応じてDX PROや部長級、管理職を対象に実施する

分類：DX推進組織に転換  
 マネジメントの発揮  
 人材育成の強化

研修名	研修内容	受講対象
DXマインドセット	これまでの認識を変えてDXを推進しようという前向きな思考となるよう、DXの考え方とその必要性を本質から理解し、業務を見直して、データとデジタル技術を活用した変革をするためのマインドと具体的な手法を説明	【基礎編】 職員全員（動画）
		【実践編】 DX PRO
サービスデザイン思考	今あるモノやサービスについて、使う人の立場から本質的な課題を探り出し、より使いやすく快適になるよう変えるために必要な視点や考え方と実践的な手法を説明	【基礎編】 職員全員（動画）
		【実践編】 DX PRO
データ活用	ICTを活用することで情報がデジタルデータになることで集計や可視化が容易となり、データ分析による仮説を立てやすくなることから、データを活用するための基本的な考え方と具体的な取組手法を説明	【基礎編】 職員全員（動画）
		【実践編】 課長級以下で選抜
論理的思考	問題解決力を高めるため、物事（課題）を結論と根拠に分け、筋道を立てて考えることができるよう、思考法と実践的な手法を説明	【実践編】 DX PRO
BPR	業務の見直しや再構築に必要な業務フロー作成手法と、業務フローから問題・原因分析、施策検討する方法を具体的な業務で検討しながら習得	【実践編】 DX PRO
システム活用	庁内ですでに導入しているシステムを業務に活用するため、各システムの特徴や活用事例などの基本情報と具体的な作業の自動化や個別アプリなどの作成方法を説明	【基礎編】 職員全員（資料・動画）
		【実践編】 DX PRO
DXマネジメント	庁内のあらゆる事象を変革するためには、決裁権者の強い意志と前向きな職場環境の構築が不可欠であることから、管理職を対象にDXを円滑に進めるために必要となるいくつかのマネジメント手法を説明	【実践編】 局長級・部長級・課長級
DXガイドブック	本市のDXに対する考え方と取組姿勢、庁内での推進体制について説明	【基礎編】 職員全員（資料・動画）

# 令和6年度 DX実行計画推進スケジュール

- R5年度の取組を踏まえ、より効果的な業務改革が進むようにDX PROへの育成プログラムを実施後、DXを理解した上でDX対象業務を選定できるようスケジュールを変更
- DX育成プログラム終了後も、DXマインドをしっかりと定着させるための研修やイベントを実施

- 
- **3月中旬** ○ 各部において**R6年度DX実行計画作成準備**を開始
    - ・DX対象業務及びDX PRO候補の検討
    - ・管理職を対象にDXガイドブック研修の実施（～4月末）
  - **4月** ○ 各部において**DX PROを決定**
    - **DX PROと部長級への育成プログラム**を開始（～8月末）
  - **5月** ○ 各部の**DX対象業務を選定会議において確定**
    - ・各部のDX対象業務選定にはICTイノベーション推進室が助言、サポート
  - **6月** ○ DX PROを中心に**各部でDX実行計画を作成**
    - **全職員・管理職への育成プログラム**を開始（～8月末）
    - DX実行計画ナレッジ共有会を開催
  - **7月以降** ○ DX PROへの相談会やナレッジ共有会を定期的 to 開催
    - 各部のDX実行計画の推進をICTイノベーション推進室がサポート

# オンライン化の推進



# 行政手続きオンライン化の推進

令和5年度オンライン化実施件数は12月末時点で249件が遅れなく完了。

1月から3月までにオンライン化している手続きが388件あり、現時点でオンライン化の検討がされていない手続きが多く見受けられる。

局	R3年5月まで 実績	R3年6月～R5年3月		R5年度				R6年度 予定	R7年度 予定	重要取組		帳票数	個別対応が 必要な手続き
		グループ1 実績	重要取組 実績	4～6月 実績	7～9月 実績	10～12月 実績	1～3月 予定			未実施	実績		
市長公室	5	3						2				10	1
危機管理室	3	1	5					7				16	
総務局	11	4										15	
財政局	28	56	3	10		5	2	5		2	1	112	
市民人権局	12	29	4	(前倒し 1) 4	(遅れ 3) 3		2	128	2	1		185	
文化観光局	39	12	2		(前倒し 5) 5	(遅れ 1) 6	22	59	1			146	2
環境局	44	87	2	(遅れ 5) 17	2	(前倒し 6) 6		19	136	1		314	1
健康福祉局	38	232	29	(遅れ 11) 12	(前倒し 24) (遅れ 21) 49	(遅れ 1) 1	(遅れ 17) 110	(遅れ 10) 257	245	17		993	41
泉北ニューデザイン推進室							7					7	
子ども青少年局	23	68	16	10		(遅れ 2) 2	(遅れ 1) 136	24	75	2		356	
産業振興局	2	23		7	(前倒し 39) (遅れ 8) 59	(前倒し 5) (遅れ 6) 11	(遅れ 2) 52	36	4			193	2
建築都市局	6	64	4	(前倒し 11) 11	(前倒し 2) 3	(前倒し 1) 2	25	87	40	3	1	246	6
建設局	4	33	1	7	(遅れ 3) 4		13	11	39	3		115	18
堺区役所		1		1		3						5	
中区役所	5											5	
南区役所		2										2	
美原区役所												0	1
選挙管理委員会	1											1	
監査委員事務局		3										3	
農業委員会事務局	4	20						1				25	
人事委員会事務局		1				1						2	
教育委員会事務局	33	24	1	1	(前倒し 1) 2		1	7	15			84	15
上下水道局	24	101	3	(遅れ 2) 2		1	11		7			149	
消防局	262	217										479	
総計	544	981	70	82	127	38	388	636	564	29	2	3463	87

※帳票数が減少しているのは、現時点でオンライン化できない、添付書類を帳票として挙げていた手続きについて整理を行った結果によるもの。

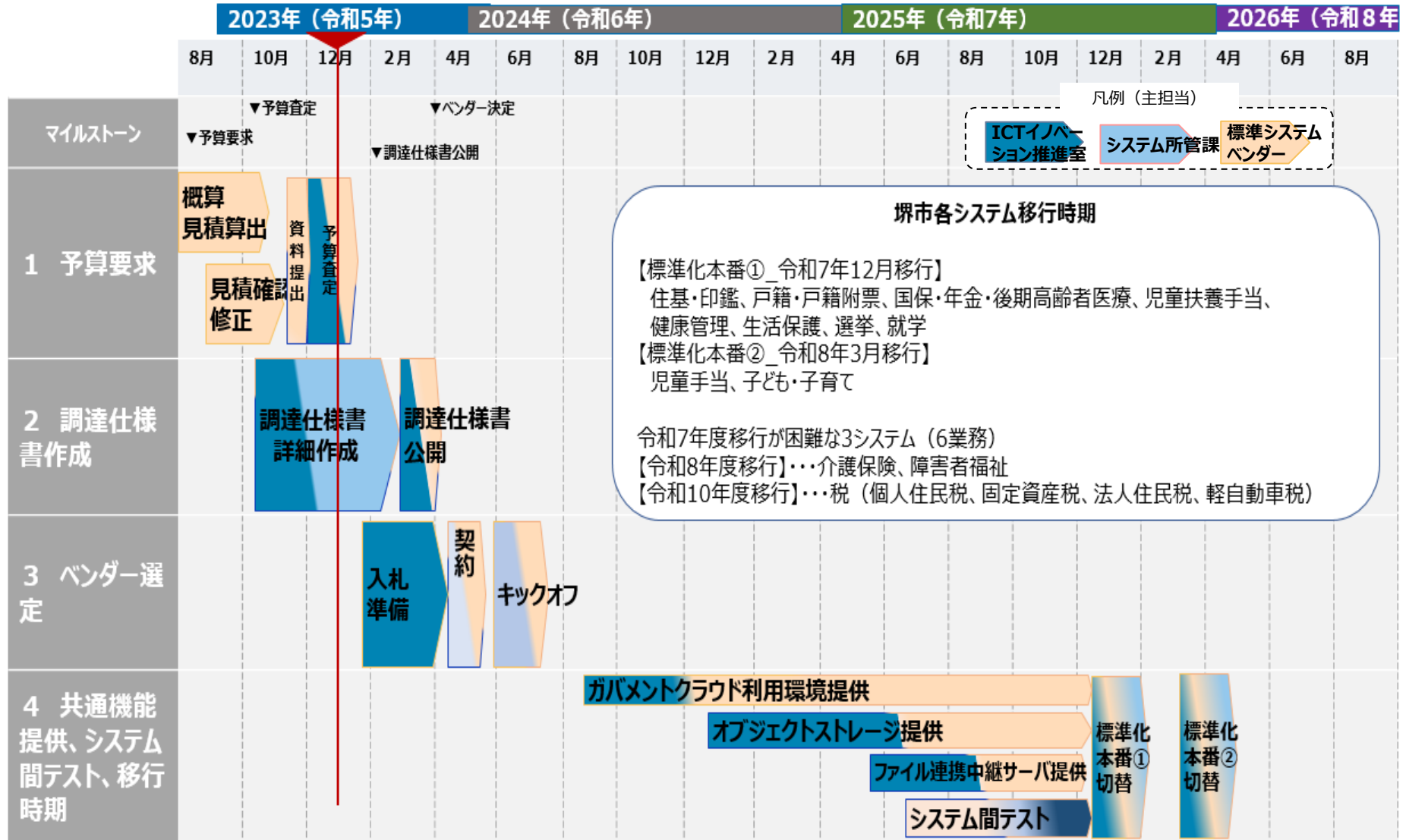
# 業務システムの標準化

# システム標準化の全体スケジュール（概要）

## 標準化スケジュール

令和6年4月契約※の場合

※4月以降の契約は2, 3のスケジュールが適宜変更



# システム標準化の今後の作業予定

## 今後の作業スケジュール

進捗及び作業予定	作業時期 (予定)	ICT	所管課	ベンダー
<ul style="list-style-type: none"> <li>標準化「全体移行計画」の作成</li> </ul>	令和6年2月	●		
<ul style="list-style-type: none"> <li>標準準拠システム調達ための予算確認</li> </ul>	執行協議（適宜）	●	●	
<ul style="list-style-type: none"> <li>標準準拠システム調達準備</li> </ul>	令和6年2月～		●	
<ul style="list-style-type: none"> <li>個人情報保護評価の実施</li> </ul>	契約後すぐ	(●)	●	
<ul style="list-style-type: none"> <li>標準準拠システムの提供ベンダと契約</li> <li>（個別移行計画書作成含む）</li> </ul>	令和6年4月～		●	●
<ul style="list-style-type: none"> <li>ガバメントクラウドのAWS共同利用環境提供</li> <li>各システムのガバメントクラウド環境での構築開始</li> </ul>	令和6年9月～	●		●
<ul style="list-style-type: none"> <li>各システム移行進捗報告 (紙面報告/隔週（予定）)</li> </ul>	令和7年3月～ 移行本番	●	●	●
<ul style="list-style-type: none"> <li>システム間テスト事前説明（テスト協力）</li> </ul>	令和7年3月	●	●	●
<ul style="list-style-type: none"> <li>システム間テスト実施（各システム）</li> </ul>	令和7年7月～10月	●	●	●
<ul style="list-style-type: none"> <li>移行本番</li> </ul>	令和7年12月末 令和8年3月	●	●	●

# システム標準化の各システムの進捗状況

## 各システムの進捗状況

システム名（仮）	対象業務	進行状況	契約締結予定時期	移行完了時期
住基システム	住基、印鑑	仕様書作成中	令和6年6月	令和8年1月
戸籍システム	戸籍、戸籍附票	仕様書作成中	令和6年6月	令和8年1月
税システム	個人住民税、法人住民税、固定資産税、軽自動車税	RFI時期検討中	令和8年4月	令和11年1月
福祉システム	障害者福祉	調達範囲、単位、スケジュール検討中	令和7年5月	令和9年3月
健康管理システム	健康管理	仕様書作成中	令和6年4月	令和8年1月
選挙管理システム	選挙	仕様書作成中	令和6年4月	令和8年1月
保険年金システム	国保、年金、後期	仕様書作成中	令和6年4月	令和8年1月
介護保険システム	介護	調達範囲、単位、スケジュール検討中	令和7年4月	令和9年1月
児童扶養手当システム	児童扶養手当		令和6年7月	令和8年1月
児童手当システム	児童手当		令和6年10月	令和8年1月
子ども・子育てシステム	子ども・子育て		令和6年10月	令和8年1月
就学システム	就学	仕様書作成中	令和6年10月	令和8年1月
生活保護システム	生活保護	調達範囲、単位、スケジュール検討中	令和7年4月	令和8年1月